「小・中学生のハローワーク」　(職業人による出張授業)

社会　総合（キャリア）

- 実施日　　令和３年３月１６日（火）
- 実施校　　墨田区立第二寺島小学校　６年生（86 名）
- 講　師　　宇都宮 義広氏・(株)明浜線材　　中根 千里氏・(株)ウイナーズ
  　　榆井 有子氏・(株)アンカフェシュクレ
- 内　容　　職業講話（３学級　各教室）
  - １学級では、３人のうちの２人からお話を聞く
  - 卒業を迎えるにあたって、なんのために働くか、どんな仕事があるかなど、また地域(墨田)で働くことの意味などのお話を聞き、将来の仕事について考えを広げる。

【児童の感想文から】

- やっぱり働くっていうことは客の笑顔を見るためや、家族を養うためにあることが分かった。世の中のために少しでも役に立つ、社会の一員になるには時間がかかる、自分の思い通りにはいかないけれど、必ずいつかそういうときがくるということを学んだ。(宇)
- 自分も将来は自分の職業に誇りをもって、家族を安心して養えるような人になりたい。(宇)
- 何のために働くのかがよく分かり、自分なりに考えようと思った。今のことが将来に影響しているということを実感することができた。(宇)
- 「失敗」を失敗のままにせず、それを経験に変えて成功させる、というお話を聞いて、素晴らしいと思った。「働く」ということは、漢字通り、イ（人）のために動くことで、人の役に立つ仕事をすることだと思った。普段行くようなコンビニ一つだけでも、いろいろな仕事が複雑に関わっていて、誰かが必要としているものには、必ず仕事があるものだと思った。(中)
- 『失敗は失敗じゃない』ということばは、たくさんの経験があったから言えることなんだなぁと思った。私は、友情関係でよく失敗するので、それを経験に友だちと仲良くできるようにしたい。(中)
- 学校の勉強は、「勉強の仕方を勉強する」というのが名言だと思った。(中)
- 自分の大好きなことに目を向けて努力して想いを広げ、それを職業にすることは、とても夢があってすごい事だと思いました。自分も将来は自分の適性に合った職を見つけて働きたいです。(榆)
- 自分のやっている仕事にほこりを持っていると思った。他の人のために働いて「ありがとう」と言われることをやりがいにしていて、自分の好きなものを仕事にするのもいいなと思った。(榆)
- 自分の好きなことを仕事にすることで、仕事をはじめる前よりも、仕事を始めた後の方が、もっと仕事を好きになれることが分かった。(榆)

【終了後の校長先生との意見交換の中で】

- このように地元で頑張っていらっしゃる方も含めて、外部の講師によるキャリア教育を、もう少し早い時期から段階的、計画的に行っていきたいですね。